

【1 分解説】G20 ファイナンシャル・ウェルビーイング政策ノートとは？

総合調査部 研究理事 村上 隆晃

G20 ファイナンシャル・ウェルビーイング政策ノート（以下、政策ノート）は、OECD（経済協力開発機構）の支援の下、2024年に開催されたG20 リオデジャネイロ・サミットで作成された政策文書です。ファイナンシャル・ウェルビーイングの概念を定義し、その枠組みや計測方法を提案しています。

政策ノートは、各国における金融包摂（誰もが金融サービスを利用でき、その恩恵を享受できる状態）と経済的安定を促進するために策定されました。低所得層や経済的弱者層の経済的参加を支援し、SDGsでいうと金融包摂の促進を含む目標8「働きがいも経済成長も」の達成に貢献することを目的としています。

ファイナンシャル・ウェルビーイングは、個人が自分の経済状況を管理し、リスクを軽減し、長期的な目標を達成できると感じる状態を指します。政策ノートでは、各国の政府が国民のファイナンシャル・ウェルビーイングを測定し、その向上を図る政策の効果を評価する枠組みが提案されています（資料）。この枠組みは、データ収集や分析方法を標準化することで、政策の効果的な評価と改善をサポートするものです。各国が自国の状況に応じた政策を設計し、個々人の生活を改善するための基盤を提供することが期待されます。

資料 政策ノートにおけるファイナンシャル・ウェルビーイングの枠組み

ファイナンシャル・ウェルビーイングとは、一般的に以下の状態と表現できる

	個人が経済的なニーズや債務の管理をできる状態	個人がマイナスの経済的ショックに対処できる状態	個人が希望や目標を追求し、チャンスをつかむことができる状態	個人が経済生活に満足し、自信を持っている状態
客観的側面 (金融的な基盤) 統計、アンケート調査	必要最低限の支出の大部分を賄える所得	貯蓄、借入手段・コミュニティ・サポート・社会的セーフティネットへのアクセス	必要最低限の支出を上回る所得で、選択肢が増え、ある程度の追加支出や将来の計画のための貯蓄が可能	—
主観的側面 (感情や認識) アンケート調査	必要最低限の支出の支払いができるという自信の度合い 日々の支払いに対する苦悩・心配 日々の財務状態に関する認識	経済的ショックに対処する能力や準備があるという自信の度合い 経済的ショックへの抵抗力に関する苦悩・心配 経済的ショックへの対処力に関する認識	希望や目標を追求する能力に対する自信の度合い 自身の将来の財務状態に対する自信の度合い 金銭面での余裕から人生を楽しめている状態	財務状態に関する満足度 財務状態に関するストレスや不安の度合い

(出所)OECD (2024), G20 policy note on financial well-being, OECD Publishing, Paris,

<https://doi.org/10.1787/7332c99d-en>より第一生命経済研究所翻訳

関連レポート

- ・「ウェルビーイング実感の四半期調査に見るファイナンシャル・ウェルビーイングと賃上げの重要性」(2024年1月)
<https://www.dlri.co.jp/report/ld/316059.html>
- ・「国民のファイナンシャル・ウェルビーイング向上に向けて(後編)～ライフデザインと金融リテラシーが鍵～」(2023年12月)
<https://www.dlri.co.jp/report/ld/297965.html>
- ・「国民のファイナンシャル・ウェルビーイング向上に向けて(前編)～実際の年収増以上に経済的ゆとり感引き上げが効果的～」(2023年12月)
<https://www.dlri.co.jp/report/ld/297962.html>